

張名 ぶど 酒 毒事件

東京守る会ニュース

〒113-8463 東京都文京区湯島2-4-4 5階

日本国民救援会東京都本部気付

電話 03-5842-6464 FAX 03-5842-6466

<http://www.5a.biglobe.ne.jp/~nabari/>



◆名古屋拘置所要請に いってきました

11月12日(月)快晴、だけど朝から空気が冷たい日でした。

『ここはいいですよ。気候は温暖ですし……北海道だったら大変で……』奥西さんの処遇面や体調についての質問で、拘置所総務部長の答えです。

拘置所暮らしが長く、運動らしい運動もできず、食事も質素、布団だって薄いだろ

うし、着る服の枚数も限られていて、高齢者という年齢。うちのおばあちゃんは冬は転がった方が動くの早いな……というほど着物を重ね着して過ごしているのになあ。大体この会議室狭い割には寒いよ。私もう足の先の感覚なくなってるよ！健康診断は年1回以上は行っているとの事でしたが、冷暖房設備のない暮らしは、昔と違って地球温暖化など体に厳しく感じているはず。ましてや無実を40年間訴えている身です。再審開始を勝ち取るまで元気に過ごしてもらわなければなりません。

初めて参加した、板橋の唐沢さんと品川

の高崎さんそして私鈴木が要請に入りました。対応は総務部長、係長、係官の3人です。門前でいつもの押し問答「なんで3人しか要請はいれないのか」『それは電話で申し込まれた際に言っている。私に人数を代える権限はない』との係長。

燃える男小澤と酒井がなおも食い下がります。『私は忙しい！他の仕事が・・・こんな事をやっている時間はない』と係長。



要請の場では、先ほどの口調はどこえやら、ずうーとダンマリで書記に徹しています。

「先程とても忙しいと何度も言われたのですが、忙しすぎて年賀状の当りを確認して切手をいれる事が出来なくなっているのですか？」係長無言のまま。『そんなことは以前からしていません』と総務部長。あわてて係官『いや以前やってたんです』総務部長『えっ！！』『あの・・・』と話し出そうとする係官を目で制する総務部長（もうそれ以上話すな！）ってか。

こんな調子でこちらは言いたいことをそれぞれ言ってきました。今まで最長の40分間！要請に入れなかった方たちは余りに長いので心配していました。

面会人を増やしてほしいなどの問題は、早急に具体的な提示をしていく一方、届かなくても奥西さんに手紙を出すなどの実績づくりも必要と痛感しました。

品川の落合さんの車で高崎さん、酒井さん、小澤さんが、新幹線で唐沢さん、鈴木が行った名古屋拘置所要請でした。

（鈴木清子）

■ホームページ リニューアル第2弾！

2000年4月のリニューアル後1年半が経過し、2回目のリニューアルを行いました。コンセプトは、「視覚的に伝えるホームページ」です。成功したかどうかは皆さんのご意見を聞く以外にありません。リニューアル担当者としては、かなり努力したつもりなのですが、少々凝りすぎてしまった感があります。

事件の概要や矛盾点など、可能な限り画像とイラスト、表組み等を駆使して、わかりやすく表現したつもりです。また、当面の日程なども同様の努力をしました。

皆さんの、ご意見をお待ちしています。

ホームページアドレスは、以前と同じで <http://www5a.biglobe.ne.jp/~nabari/> です。（宮崎孝）

◆再審・えん罪事件全国 連絡会総会&出版記念レ セプション

11月6日（火）午後1時から、再審えん罪全国連絡会の第10回総会が平和と労働センターの会議室にて行われました。

まず弁護士の秋山賢三先生から、「無実の人達を救うために何が必要か」という演題での記念講演がありました。先生の裁判官時代の経験を踏まえたとても興味深いお話でした。

その中でも、今後の課題として、「えん

罪事件」という言葉そのものは、最近の痴漢えん罪事件のマスコミ報道や推理小説などで昔に比べてだいぶ世の中に広まった感があるが、えん罪を闘いきる体制が確立されていないのではないかという指摘がありました。確かに、えん罪事件を担当している裁判官の中には自分の出世しか考えていないのでは？と思われるような人もいますし、裁判所の質を疑いたくなるような不当判決が多いのが現状です。しかし、「敗因を裁判所や裁判官のせいにしてばかりいられない。再審弁護活動の再編成として、『痴漢えん罪全国弁護士連絡会』『再審事件全国弁護士連絡会』等の組織を早急にする。



そして、支援運動との緊密なるタイアップをして闘いの質の充実と強化を図っていくべきだ」との前向きな提案がありました。私たち守る会でもそんな先生のビジョンに応えられるような体制を考えていかなければならないと姿勢を正された思いになりました。

二部では、自由に発言する形で議論をしました。名張事件からは、三重県の砂野さんが事件の現状の報告等の発言をしました。

総会後の6時から平和と労働センターのホールで、7月に出版された「えん罪入門」（日本評論社出版）の出版記念レセプション



ンが行われました。

参加者には、記念品として「雑巾」が配られました。「雑巾というものは、自らを汚して拭いたところをキレイにしていくものです。これはまさに美しい運動の精神ではないか！」などというちょっとした主催者側のシャレです。（そもそもは、ヨッパライの盛り上がり戯言が具体化されたものです）

参加者に徳島ラジオ商事件を審理した裁判官と副弁護団長と守る会の方がいらして、当時の思い出話を聞かせてくれるなど、貴重な一幕もありました。

「良い本が出来た」となかなか和やかな雰囲気のパティーでした。これからは、この好評な本をいかに普及してえん罪事件支援に役立てていくが大きな課題です。

みなさんも、是非、「えん罪入門」の普及にご協力くださいますようお願い申し上げます。（藤本珠美）

会費・カンパありがとう

新倉修さん、田中融さん、
落合修さん、鈴木智恵さん、
谷川紀子さん、千葉・九十九里班、

■今後の日程

2002年1月16日(水)
救援会都本部旗開き
1月25日(金) 名古屋拘置所要請
1月29日(火) 事務局会議
2月22日(金)
3月1日(金) 事務局会議と
現地調査事前学習会
3月30日(土) ~31日(日)
第20回全国現地調査

◆年末カンパのお願い

みなさんいつもご支援いただきありがとうございます
ございます。

最高裁に特別抗告をしてから2年が過ぎ
ました。弁護団は新証拠の鑑定を着々と進
めています。

東京の会では、奥西さんの処遇が少しで
も改善されるように名古屋拘置所や法務省
矯正局に、また一日も早く再審が開始され
るよう最高裁判所に要請を重ねています。

毎月第1水曜日には18時より約1時間、
御茶ノ水駅において、他のえん罪事件の支
援者ともに宣伝行動も行っています。お時
間のある方はぜひご参加ください。

さて年の瀬を迎えいろいろ大変かと存じ
ますが活動を進めるための年末カンパには
是非ご協力ください。よろしくお願い致し
ます。尚、同封の郵便振替用紙にてご送金
いただければ幸いです。

●奥西さんへ 年賀状を送ろう!!

いつの間にか年末です。年賀状の準備で
名簿を整理している方も多いかと思いますが、
その住所録にぜひ奥西さんを加えてい
ただき、奥西さんに年賀状を送りましょう。
住所は、下記のとおりです。

〒461-0011
名古屋市東区白壁1-1名古屋拘置所内
奥西勝様

BOOK

「えん罪入門」 好評発売中

この一冊でえん罪事件がわかる!

名張毒ぶどう酒事件・東京守る会の故・
海藤秀幸さんと藤本珠美さんが編集協力
をした「えん罪入門」(1600円十税・日本評
論社刊)が好評発売中です!

えん罪事件
とは何か?た
たかひの歴史、
えん罪事件を
なくすために
等、やさしく、
わかりやすく
書かれている
本です。

ぜひお読み
ください!

